

平成 24 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 クレアホールディングス(株)
代表者名 代表取締役社長 黒田 高史
(コード番号 1757 大証第 2 部)
問合せ先 取締役 岩崎 智彦
(Tel. 03-5775-2100)

平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異
および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 24 年 9 月 10 日に公表いたしました平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正について、下記のとおりお知らせいたします。

平成 25 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想の修正(平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	125	△162	△162	58	3.59
今回修正予想(B)	111	△177	△176	185	11.35
増減額(B-A)	△13	△14	△14	127	—
増減率(%)	△10.9	—	—	215.9	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	175	△172	△177	△223	△13.66

平成 25 年 3 月期第 2 四半期通期連結業績予想の修正(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	256	△327	△327	△105	△6.45
今回修正予想(B)	242	△341	△341	21	1.31
増減額(B-A)	△13	△14	△14	127	—
増減率(%)	△5.3	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 24 年 3 月期)	298	△355	△364	△342	△20.89

(注)当社は、平成 24 年 7 月 17 日付で株式 100 株を 1 株にする併合を行っており、1 株当たり四半期純利益及び 1 株当たり当期純利益は、前連結会計年度の期首に併合が行われたと仮定して算定しております。

修正の理由

(売上高の減少の主な要因)

当社グループは、平成 24 年 4 月以降同年 9 月までについて給排水管設備工事では 99 百万円の売上高の計上を予想しておりましたが、大規模工事である更正工事及び設備工事の受注・完成について当初の予想数値を達成することが出来ずに当該工事の売上高が 80 百万円の計上に留まったため、給排水管設備工事において 18 百万円の下方修正となりました。

当該減少に至った要因は、当該工事を行う当社の連結子会社である株式会社サニーダにおいて営業員人が 2 名減少した他、平成 24 年 2 月以降に同社を対象とした訴訟が複数提起され、その対応に営業人員を配置したことにより営業機会を喪失したなどが原因であります。

(営業利益及び経常利益の減少の主な要因)

当社グループは、平成 24 年 7 月 17 日付で株式併合を行っており、そのための費用として 8 百万円が当初の予想数値を超えた費用として計上されております。また、当社グループでは、平成 24 年 4 月以降同年 9 月までにおいて継続した訴訟の終了が複数あり、そのための弁護士費用として 10 百万円が当初の予想数値を超えた費用として計上されております。

(四半期純利益及び当期純利益の増加の主な要因)

当社の連結子会社である株式会社サニーダは、平成 24 年 10 月 29 日付「訴訟の判決の確定に関するお知らせ」にて公表しておりますとおり、株式会社ラップクリエイト（旧商号 株式会社サニーダテクノから提訴されていた未払金請求訴訟につきまして、東京高等裁判所から平成 24 年 9 月 26 日に言い渡された「原告の請求を棄却する」の判決日以降 14 日以内に控訴を行わなかったため、サニーダが計上するラップクリエイト社への未払金債務 145 百万円の全額を債務消滅益として計上されております。

※ 本資料に記載されている業績等の予想数値につきましては、本資料発表日現在において得られた入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上